

牛から見た草原

牛たちにとって
草原はどんなところ？

草原の主人公
あか牛のくま子

色は明るめの褐色。性格が穏やかで、寒さにも強く丈夫なのがりえ。

くま子の ある 1日の生活

早朝

活動開始。しっとりとした草で朝ごはん。時間をかけてしっかりと食べる。水辺におりて水を飲む。飲んだあとは、そのまま近くの木陰でひと休み。

正午

ふと気がつくともう昼。おなかのすいたので、おいしい草を求めて移動。歩いては食べ、食べては歩く。

夕方

おなかいっぱいになり、草原の景色を楽しみながら、ゆっくりと散歩。のどがかわいたので水辺へ。水を飲んだら眠くなったのでちょっとお昼寝。

夜

昼寝からさめたら、またおなかのすいている。またまた食べ、食べては歩く。そろそろまわりも暗くなってきたので、今日の寝場所へ。夕方食べた草をおなかの中でもう一度味わいながら、いつしか夢の中へ……。

背中に書かれちる番号は、私たちがケガばしとらんか見回りにこらす人が遠くからでも見分けられるごつするのためのものばい。ばってん飼い主がつけちる名前前で呼ばれるときが一番うれし。



ちょっと変わったイヤリング (耳標)

私たちが、生まれるとすぐ、世界で一つしかなか番号を書いた黄色いイヤリングが付けられるとたい。私たちがどこで生まれ、どぎゃんふうに育ったのか、いつでもわかるようにするため、BSEという病気が出てきてから、ずっと行われているとたい。私たちの健康の印と思っているばってん、三つもつけるとちょっとハデかしらね。

好きなもの、嫌いなもの

柔らかい草が好きたい。成長して硬くなった草は苦手たい。牛にだって好き嫌いはあるたい。チカラシバという草も背が高くなると、ほ先が目に入って痛かけん好かんたい。自分たちのフンだけど、やっぱりあまり近づきたくはなかね。草原の中を歩くときは、草の残った茂みの近くではフンに注意したほうがよかね。

私たちが仲間とグループばつくって行動することが多か。アネゴのようなリーダーだっておるとばい。



くま子のなだち

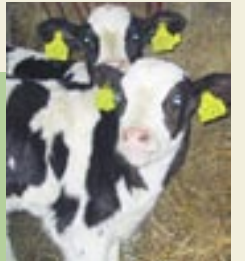
黒牛

最近、よく見かけるごうなつたよね。市場ではくさ子たちより人気が高いとばってん、気にしちよらんとよ。



ホルスタイン

乳牛は、阿蘇では少数派。一緒に行動することがなかけん、どぎゃん性格かは、わからんばい。



らしみす 牛道

トラクターが入られんごたる急斜面でも平気かばい。水平に移動ばしながら登り降りするとたい。そぎゃんやって私たちが草ば食べ歩いてできる跡は「牛道」と呼ばれるとたい。

1日に3kmは軽く歩けるばい。



とるい とも (土塁)

牧野の境界には、私たちがよその牧野に入り込まんごう、土ば積み上げた土手がつくられとるたい。昔のことだけん、もちろん私たちが生まれてなかばってん、今も残ちちるばい。その長さは全部で500kmにも及ぶそうばい。

